

和泉短期大学「就職懇談会」アンケート集計結果(学生向け)

令和2年8月1日(土)

【感心を持ったこと】

No	内 容
1	・相模原市に保育園・こども園が多くあること。(2)
2	・幼稚園と保育園の差が少なくなってきたこと。
3	・保育園の方が幼稚園より子どもと向き合えるのか考えた。
4	・幼稚園系と保育園系の子どもとの関わり方の違い。
5	・保育園と幼稚園の違いが具体的に分かり将来が見えた気がしたので、とても興味を持った。
6	・幼稚園に就職してから0・1歳児の成長に興味を持ち、就職するといった選択があるという方法があること。(2)
7	・幼稚園で教育+保育という考えになってきて、社会全体が保育を必要としてきていることについて。
8	・保育園は遊びと生活が繋がっている。
9	・相模原市の研修体系がしっかりしていることを知ることができた。(4)
10	・休暇について(2)
11	・休日は休日としてきちんと機能しているのだと安心した。(2)
12	・有給休暇等を利用して息抜きできること。保育士にも休みがあることを知ることができた。
13	・サービス残業が減ってきていること。(2) 平日に振替休日があること
14	・持ち帰り仕事が少ない(2)
15	・今まで持っていたマイナスのイメージが話を聞いてプラスのイメージに変わった。休みの話など
16	・保育園では自分たちが思っているほど、仕事が大変ではないこと。
17	・思っていたよりも仕事の時間や持ち帰る仕事が山のようにあつたりはしないので良かった。
18	・家に仕事を持って帰ることが多い。園では子どもたちの午睡中に連絡帳・製作等の準備と用意を行う。
19	・園見学や説明会は大切、多くの園に行き、自分に合った園を見つける。(17) ※自分の目で見て判断する コロナの関係で行って良いかわからなかった。
20	・園見学で全体を知る大切さ
21	・園の行事など、普段の保育以外のところでも良く見てみたいと感じた。
22	・一つひとつの内容からただ大変だからと思わず、しっかりと園見学をしてから、ゆっくりと自分の雰囲気と合う園を選ぶことが大切だと思った。
23	・説明会にも行ってみようと思った。実際に行き、話を決めてみることもあると聞き、参考にしようと思った。
24	・人間関係を大切にしてお見学することで、より良い園選びができるということに感心を持った。
25	・職場を選ぶ中で、方針だけでなく、人間関係も大切だということ。
26	・園選びをする中でキーワードが少し見えてきた気がする。
27	・市内だけで170以上ある中、自分に合った園を見つけることができるか、就職することができるかが心配。
28	・様々な保育の方法があり、園によって全く違うことがわかり、自分に合う園はどういうものなのか気になり、関心を持った。
29	・園見学に行き、実際の保育園の様子や先生との関係性について見に行くことが大切だと感じた。
30	・見学に行ったら良かったと思ったら、体験すれば良いということを知った。(2)
31	・実習園にしかあまり興味がなかったが、様々な園を見学した方が良いと聞き、もっと様々な園を見学したい。(2)
32	・実際に園の見学に行くことで印象が変わったり人間関係の面を見ることができたりするそうなので、行ってみようと思った。
33	・園の雰囲気を感ずること。
34	・ボランティア・見学などで園を知ること。

No	内 容
35	・一つひとつの園には特徴があり、自分のイメージに合った保育ができる園をしっかりと選び、就職したい。
36	・園見学に行くことはHPを見るよりも色々なことに気づけるので、複数園行くことは大切だと思った。
37	・やりがいを感じることで「行事」が上がっていたので、ボランティアとして行事に参加してみたいと感じた。
38	・自分の行ってみたい、働いてみたい園の探し方は色々ある。園の売り込みではなく、学生主体で就活の仕方を探すことの重要性。(3)
39	・就職先の決め方(2)
40	・自分が持つ教育方針にあった保育園・幼稚園を探すことの重要性
41	・自分に合う園を見つけたい。(6)
42	・自分の得意なことを生かせる園を探す。(2)
43	・自分の好きなことが保育の中でも生かせ、子どもの心を動かすことができることに関心を持った。(7)
44	・園を探すことは大変だと感じたが、「自分に合った園は必ずある」と言われたことで少し安心できた。(2)
45	・「出会い」や縁を大切にしながら、園見学や体験に伺いたい。
46	・自分自身に合う園を見学し、楽しさと苦しさはある。通勤する距離等、実生活と子どもたちの保育ができることが大切。
47	・最初の園選びは慎重に行う。自分から園を探し見学に行く。
48	・今からの準備も大切だが、適度に遊ぶ。園見学大変だけど体験も大切。
49	・私が就職するのに気づいていなかった給食やお弁当についても考えることができるポイントになった。
50	・給食の園の方が楽など考えたことがなかったので、感心を持ち参考になった。
51	・支援センターに頼ると良い事が分かった。(3)
52	・学校にもっと頼って良いと思った。
53	・人間関係が自分に合っているかどうか知るためには、実際に足を運んで自分で体験してみることが大切。
54	・就職するにあたって、自分の譲れないポイントを見つけることが大切ということ。自分の行きたい園が具体化されることを学んだ。(2)
55	・就職先の決め手について(2)
56	・先輩方が就職の決め手になった理由や着目していた点、注意していたところを知ることができた。(2)
57	・実際働いてみて感じたことは私達には分からず、なかなか聞ける機会がないので、現場のリアルな話を聞くことができて、就職後の想像ができた。
58	・自分のしたい、やりたい事をしっかりと決めておくことで、体験をして分かることもあることを知った。
59	・就職先の決め方や、なぜ選んだのかが異なっていたので、自分の理想に近い園を選ぶことが大切だということを改めて考えないといけないと思った。
60	・どのような事が現場に出た時に生かせるのか。自分の好きな事をどこの職場で引き出すことができるのか。
61	・社会人になってからも学び続けることが大切で、園見学に行き、自分に合った保育園を探すことが重要であると感じた。自分の目でしっかり見ることが大切。
62	・映像に出てきた様々な保育方法です。出前保育など自分の知らない保育があり、調べてみようと思った。
63	・就職試験についてのアドバイス(2)
64	・就職試験で特に見られていること。これからどのような準備をしていけば良いのか知ることができた。
65	・それぞれの園の建学の精神を知りたくなった。園の設立者の思いを大切にしたい。
66	・苦手なことがあっても得意なことを生かす。全てにおいて「あいさつ」「マナーや礼儀」「コミュニケーション力」「仕事に対する情熱」「奉仕」が重要であるのだと感じた。
67	・ピアノが苦手、休みの日は遊んでリフレッシュなど頑張り過ぎず、自分と向き合うことが上手な姿。
68	・ピアノをたくさん練習しておく。

No	内 容
69	・仕事が休みの時、リフレッシュしたりしてON・OFFを切替えている。
70	・保護者対応について(3)
71	・保護者関係については言葉の言い回し等が難しいが、その都度、先輩に相談してみると向上する。(2)
72	・子どもが先生のことを好きなら、保護者も認めてくれるということに関心を持った。(2)
73	・保護者の信頼は子どもから好かれているか、子どもに愛情を伝えられているかについても重要という話。(4)
74	・保護者対応で子どもに愛情を注ぐことで、保護者との関係も築いていけること。(3)
75	・保護者とのコミュニケーションの場では、保育者の方が保護者に話し易い雰囲気作りをするが大切である。
76	・保護者対応について、言い回し一つで誤解されてしまうこともあることを知った。
77	・子どもとの関わりについて、保護者とも距離を考えていること。
78	・職場での人間関係について(5)
79	・苦手だなと思う人がいても“苦手な所を見る”ではなく“良い所”を見ることで、関係を築いていくことができる。
80	・気が合う人を見つける。
81	・職場の人間関係につまずいた時は、その人の良いところを考える。(プラスの面)
82	・自分から聞けるように、子どもではないので自分から聞かないと教えてくれない。
83	・先生同士のチーム、一体感を大切にしていると聞き、子どもに関わるだけでなく、園全体で分かりあうことが大切だと感じた。
84	・保護者や子どもだけでなく、園内での関係についても考えていくことが大切。(自分が楽しめる園など)
85	・園内研修で、先生同士のスキルを広げる。
86	・休日や残業、人間関係のことについて実際に聞いたかったので良かった。(2)
87	・法人の中でも園によって保育方法が違うこと。
88	・「保育をしてみて」という内容のお話して、やはり最初の1～3年目は仕事を覚えることなどで大変であるということだったが、先輩の保育士の方が丁寧に教えて下さるというお話を聞いて、不安が少し軽減された。
89	・保育者の子どもに対する気持ちを一人ひとり持っていて、すごいと思った。
90	・保育現場で働く人たちの休みの過ごし方や仕事内容を知ることができた。その中で時間の有効活用が大切だと知った。
91	・どの園も人間関係が良さそうだった。
92	・先生方が保育の現場でやりがいを感じながら働かれていることを知り、改めて魅力的な仕事であるということを感じた。(4)
93	・保育には楽しみが詰まっていること。
94	・楽しさと、やりがい。
95	・仕事をしてみてと就職前とでは印象も異なると感じた。
96	・子どものために何をし、何を考えるか。
97	・「どうしたらいいだろう」と一歩踏み出して考えていくこと。(3)
98	・保育者になってからのこと
99	・課題を次の行動へどのようにつなげていけるかが大切であり、その様々な経験を通していくこと。
100	・一人ひとり自分の保育を持って働いていることが分かった。働いてから学ぶこともたくさんある。
101	・一人ひとりやりがいは違うのだと気付くことができた。
102	・保育のやりがいがたくさんあると分かったので、自分もやりがいを感じることをやりたい。
103	・保育の楽しみや、やりがいについて。(4)
104	・子どもの初めてに寄りそえる。(2)
105	・休日もしっかり充実させ、先輩保育士に聞いて力をつけている姿に憧れを持った。

No	内 容
106	・子どもたち一人ひとりとしっかり関わることが大切。
107	・少人数保育や一人ひとりの子どもたちと向き合える保育。(2)
108	・失敗したらそのままではなく、その後どうした良いか、どのようにすれば良いか、子どもたちと一緒に遊びながら学ぶことが大切。
109	・新しいクラスの子どもの家に電話をかけて、繋がりを持つ。
110	・仕事の合間を製作の時間に充てたりできる。
111	・悩むことがあっても別の視点から見て考える。働いてからこそ、諦めず苦手を克服するきっかけでもある。
112	・自分が保育をして子どもたちを笑顔にしてみたいと思った。自分の知識を保育に生かしたい。
113	・スライドショーを見た時に、先生が「こういう写真を撮る教育者はいいなと思う」「写真に温かく見守っている姿が残っている」という言葉を聞いて、写真だけでもその園の温かさを感じられるということに関心を持った。
114	・仕事をしていくからこそその人間関係や学びなどがたくさんあること。
115	・様々な理由で働いていること。
116	・研修会について(2)
117	・クラスの担任を持つことも大事で大変であるが、仕事の合間に研修に行ったり、子どもと関わるための学びの研修には積極的に参加したい。
118	・担任を持つことのやりがい(2)
119	・キャリアを積むこと。
120	・男性職員の心がけること。さりげなく思い荷物を持ってあげるなどすることで、信頼関係を築くことができる。
121	・男性保育士について
122	・男性保育士の需要が高いということ。
123	・学生のうちに悔いのないように過ごす。(4)
124	・学生の内に勉強をして、園で働いても分からないことがたくさんあること。
125	・自分がどのような保育をしたいかを改めて考えていきたいと感じた。今、やっておくべきことは沢山あると感じた。
126	・自分が目指す保育者像を考えて、しっかり学校の授業を聞くこと、当たり前のことを当たり前に行えるようになることが大切だということ。
127	・卒業までに授業をしっかり受けることで、現場に出た時に役に立つということが分かり、とても感心を持った。
128	・卒業までに何をしたら良いか。
129	・卒業までに保育に関することをしなければと思っていたが、自分の好きなことをたくさんしてほしいという言葉聞いて、少し安心した。
130	・自分の得意分野を作っておくこと(3)
131	・学生のうちに長期休みを満喫する。
132	・授業での学びは絶対に役に立つ。(2)
133	・実習の時の話
134	・保育の仕事について実習で行きたいと思っていたイメージと違っていたりしたので、自分で園を探すなど、たくさんリサーチしたり、実習中にわからないことはたくさん聞きたい。少し考えたいと思った。
135	・今からの準備も大切だが、適度に遊ぶ、園見学大変だけど体験も大切。
136	・学生時代に作った教育教材がとても大切で役に立つこと。
137	・何年か先輩なだけなのに、すごい大人。
138	・保育製作の大切さ
139	・手遊び・ペープサート・パネルシアターを準備しておく。
140	・手遊びのレパートリーを考える。

No	内 容
141	・手遊びや、ちょっとした物を作って準備をする。
142	・保育のタネをたくさん持っておくこと。
143	・引き出しを増やしておくが良い。(3)
144	・今のうちにピアノや手遊びのレパートリーを増やす。自分の長所を伸ばす。
145	・卒業までに一つ得意分野を作っておこうと思った。
146	・マスクを子どもたちにプレゼントした。